

令和7年度 関東スポーツ推進委員研究大会（山梨大会）

大会は6/27（金）～6/28（土）の2日間に渡って、初日は甲府市郊外の小瀬スポーツ公園 武道館アリーナで、2日目は近郊の6つの会場に分かれて分科会が実施されました。参加者はスポーツ推進委員（1都8県）が1,800名強、来賓等を含めると2,000名を超える規模でした。

開会式の前に、地元のスポーツ推進委員協議会の皆さんのスコップ三味線の実技披露などがありました。その後に、開会式から関東スポーツ推進委員協議会表彰式と続いていきました。今回は残念ながら鎌倉市からの受賞者はありませんでした。

今回の大会テーマは「スポーツと文化の融合」ということで、教育関係者の2講演がありました。最初は学校法人日本航空学園 梅澤理事長の講演でした。昨年1月の能登半島地震は、記憶に新しいところですが、日本航空学園石川キャンパスの素早く、強力な復旧の話でした。また、スポーツも盛んな学校で、スポーツでは「自由と規律」が重要だということでした。次は国立大学法人山梨大学の中村学長の講演でした。テーマは健やかな子供を育むということ、大人がまたやりたいと思うことは持ち越し効果と言うのだそうですが、面白く・心地よく・自ら やったことは持ち越せるということでした。したがって、子供の時に一杯あそぶ・スポーツをするということが必要とのことで、スポーツ推進委員に期待しますとの話でした。最後はパネルディスカッションでした。

2日目は第6分科会に参加しました。「信玄堤」散策ということで、釜無川の堤防（信玄堤）からドラゴンパークを目指しました。暑い（35℃）中で多少の高低差もあり汗もかきましたが、大きなトラブルもなく終了しました。

